

# 令和4年度 第2回諏訪市総合教育会議

日時 令和5年3月14日（火） 午後2時00分  
会場 諏訪市役所5階 大会議室

## 【次 第】

### 1. 開 会

### 2. あいさつ

・ 市 長

・ 教 育 長

### 3. 議 題

(1) 諏訪市教育大綱の策定について

① 経過報告

② 教育大綱につながる中学校での取組について

③ 子どもたちの意見について

(2) その他

### 4. 閉 会



# 諏訪市教育大綱

(令和5年度～令和8年度)

## 【基本理念】

誰もが輝き 誰もが幸せ

新たな時代を切り拓き つながり続ける学びの和

ここ諏訪の地には、諏訪湖やそれを抱く山々に太古の地質変動と人々の営みの痕跡が残され、人々が自然に畏敬の念を抱いていた証しが、御柱祭や御渡りを代表とする諏訪信仰として残されています。そして、冷涼な乾燥気候が精密工業を盛んにした一要因となるなど、諏訪の人々は恵まれた自然の中で多くの歴史や文化、産業を生み、今に伝えています。諏訪市には、ものづくりを含め体験を通じて地域を知ることができる「ひと」「もの」「こと」が豊かにあります。また、寒冷な盆地で生きる術として身に付けたとも考えられる勤勉で探究的な諏訪の人のありようは、諏訪人気質とも称されます。

わたしたちは、家族や仲間、地域の方々とつながりあいながら成長し、自分の好きなことや得意なことを伸ばしながらこころ豊かに生きるため、この地で多くの学びの機会を得てきました。

そんな諏訪の教育を取り巻く環境にも、今、大きな変化が訪れています。

少子高齢化、人口減少社会の進行は、これまでの右肩上がりの社会を基盤とした考え方を揺らし、同時に人の生活や働き方、価値観が多様化する一方で、孤立や格差の問題も顕在化してきています。また、大量生産・大量消費による工業を中心とした産業構造はサービス業中心へと変化するとともに、グローバル化のさらなる進展や、人とモノがインターネットでつながり新たな価値が生まれ、AIなどの技術革新により人の可能性が広がる society5.0 という未来社会を目指す取組が始まっています。さらに、世界中が気候変動や自然災害などの環境問題に直面し、いまだ新型コロナウイルス感染症は終息の兆しがみえません。

諏訪市は、これまでの常識や価値観を変えるような、先行き不透明で将来予測が困難な社会が訪れようとしている中だからこそ、諏訪市の豊かさや諏訪人気質を発揮することを目指します。

そして、誰もが心身ともに健やかで幸せに未来を生き抜くため、以下のことを目指します。

- ・皆が一緒に同じペースで同じことを行うことよりも、多様な個性や自立した個が尊重され、つながりあいながら対話や議論により、新たな価値を生み出していくこと
- ・互いに寄り添い、支え合うことで誰ひとり取り残されることなく、可能性が最大限活かされ、かけがえのない存在として自立すること
- ・誰もが誰とでも、いつでもどこでも、自分らしくかつ楽しく豊かな体験を通して探究的に学び続けること
- ・学びを礎として世代を超えて協力し合い、誰もが幸せに生きることが出来る社会のつくり手となれること

そのうえで、こうした学びをつなげて人と人がつながる「学びの輪」、その先に、過去に学び地域や社会の未来をつくる力として光を放つ多様な「学びの輪」がなごやかでゆるやかに調和する、「学びの和」を目指した教育を進めます。



高島藩の御貸具足

(諏訪市博物館蔵)

江戸時代の高島藩の合印(あいじるし。敵味方を区別するしるし)は、金色に輝く輪「金素輪」。

## 【基本方針】

### 1【学校教育】自らを拓き、未来を生きる子どもを育てる

これからの時代を背負う子どもたちの学びが更に深まり、自分らしさを発揮しながら楽しい学校生活を送ることができるよう、3つのプラン「認めあい」「支えあい」「学びあい」と3つの重点活動「読書活動・読書会活動」「人権・平和教育の充実」「地域と一体となった防災教育・安全教育」を大切に、自ら学び、自らの力で課題に立ち向かう意欲を持った子ども、故郷への愛着を持ちながらも幅広い視野で考え行動できる子どもを育む教育を推進します。また、小学校と中学校における9年間の系統性・体系的に配慮した小中一貫カリキュラムを編成し、児童生徒の成長を支える仕組みを整え、これからの少子化等の社会環境変化にも対応できるよう、社会的自立を育む小中一貫教育を推進します。

### 2【地域教育】地域に学び、地域に生きる子どもを育てる

地域教育は社会教育、学校教育の二つの切り口があります。社会教育においては、その活動を通して人と人との交流を促進し、地域に新たな価値をもたらすような仕掛けづくりを進め、地域コミュニティの再生・活性化に貢献することを期待します。学校教育においては、総合的な学習の中で地域教材・地域人材を活用し、信州型コミュニティスクールの更なる推進や、郷土への理解や愛着を育む取組を進めます。これらの地域に学ぶ様々な取組により、まち全体で未来を担う子どもを育てていきます。

### 3【生涯学習・文化芸術】学びや文化芸術に、親しみ、活かし、つなぐ

市民一人ひとりが文化や芸術に親しみ、生涯にわたり自発的に学び続けることは、社会の一員として自立した個人を育むために、また、豊かな人生を歩むために大切なことです。私たちは、多くの人とつながりながらこの地域で生活しています。個人やグループが学んだ成果を活かし、生涯学習活動や地域活動を支えることは、諏訪の地域力向上にもつながり、学びや文化芸術活動の定着にもつながります。諏訪の特色を捉えた学びがいつでもどこでも誰でもできること、地域課題の解決に活かせること、学びを通じて仲間を広げ、人と人がつながることができる諏訪市を目指します。

### 4【スポーツ振興】誰もが気軽に楽しく親しめるスポーツ

健康づくりや生きがいを求める意識が高まる中、日常生活における運動やスポーツの役割はますます大きくなっています。文字通り健康づくりに取り組むことで健康寿命は延伸し、社会保障費の安定化にもつながります。これを実現するには、普及活動や施設等の環境整備が必要不可欠です。スポーツに対する関心を高めていき、より身近に感じてもらうことで、市民の誰もが、それぞれの年齢、体力、目的や興味等に応じてスポーツに親しむことができるようになり、生活の一部として楽しく気軽に取り組んでいける。そうした取組から、生涯にわたり心身ともに健康でいきいきとした生活を送ることができるまちを目指します。

### 5【文化財保護・活用】諏訪の特色である文化遺産を守り、活かす

指定文化財、博物館の資料、美術館の作品、偉人の顕彰等、諏訪の風土や先人によって築かれた歴史や文化を知る材料を「文化遺産」として守り伝えることは、諏訪で暮らす私たちのアイデンティティにつながり、まちの魅力につながります。

また、市民が諏訪の特色や魅力に気づき、活かすことで、交流人口の増加にもつなげることが可能です。

文化遺産の確実な保存と、魅力が伝わるような整備と公開を土台として、市民自身が文化遺産保護と活用の担い手となることを目指します。